

This is 伊豆(早春伊豆ツーリング)



今回は関東エリアのネタではないが、2月15日早朝より伊豆半島へツーリングに出かけた。「定番のツーリングコース」ではあるが、オイラにとっては未知なる場所であった。

ツーリングでは一度だけ行った程度で、道とか詳しく知らないのが現状であった。

画像は旧天城山隧道での一コマであり、この後天城越えを行ったの言うまでもない。

早春の伊豆をお楽しみください



左の画像は、賀茂郡南伊豆町下賀茂の「河津桜」をバックに撮影。一足早い桜の開花で一杯やりたかったが、バイクで来ているので我慢する。(当然だ!)

右の画像は、お世話になったライダーハウスで撮影した「ミカンの木」である。たわわに実って美味しそうである。



いわゆる「ご当地ナンバー」です。これを見ていると、「ああ、伊豆に来ているんだな」という実感がわいてきた。他にも「富士山ナンバー」の車やバイクも見ることができ、車に限っては「希望ナンバー」ができるので、「37-76」にしている車を見ることができた。

オイラが住んでいる埼玉での「ご当地ナンバー」といえば「川越ナンバー」というのがあり、だいぶ浸透しています。

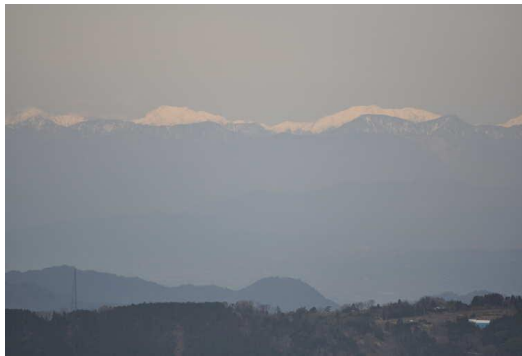
富士山の迫力に「何も言えねえ」



今年の元日に、千葉県富津市から「富士山」を撮影して「見事だな」と感動していたが、伊豆スカイラインから望む「富士山」は、「雄大で迫力があり、人間の力を超越した自然の力」を見せつけられた。あまりの絶景に「何も言えねえ」という思いだった。

今まで「何で伊豆に来なかったのか」と悔やむと同時に、「また来たい」という思いが強くなった。

富士山も素晴らしいが駿河湾も…



左の画像は南アルプスの山々であり、右の画像は富士山と南アルプスのコラボである。画像にはないが、伊豆スカイラインから望む駿河湾も絶景であった。

「こんな素晴らしい景色が見えるところに住むことができれば、殺伐とした気持ちになることもなく、平穏な毎日が過ごせるのでは」と思うのはオイラだけでしょうか？

旅をすることはその人の感性を豊かにし、生きる力を与えてくれる気がする。便利で機能的な物ばかり優先された現代において、自分たちが自然に対して罪深い行いを反省する絶好の機会でもあると思う。せめてこの気持ちを忘れないで生活していきたいと思った。

編集後記

この時季のツーリングコースというと房総半島を目指していたが、今年は趣向を変えて伊豆半島をツーリングコースにしたら見事大当たりだった。天候にも恵まれてとても充実した2日間だった。

富士山の他に印象に残ったものとして、旧天城隧道を造りを見ると、とても手間のかかった造りであり、現在の建造物はとても足元にも及ばない気がした。機能とコスト優先で趣がなく、悪い言い方をすれば「手抜き」されているように思えた。今度改築される歌舞伎座も、選りすぐりの宮大工さんを総動員して「伝統的な工法で造るくらいの意気込みを見せて欲しい」と願うばかりです。

以上です。